

巡回展「日本の生物多様性とその保全」実施報告書

記入日：令和3年6月10日

館名・団体名	徳島県立あすたむらんど 子ども科学館
部署・担当者氏名	科学館グループ 桐間 惇也

1. 開催概要

開催期間

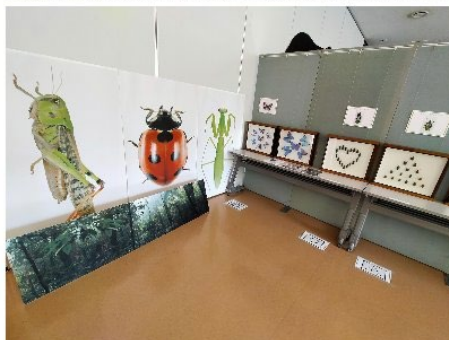
令和 3年 4月 24日(土) ~ 令和 3年 5月 31日(月)

開催日数： 28 日

展示会場広さ（展示会場平面図があれば、別途添付してください）

約 425 m²

開催の様子（写真）※頁数が増えてもかまいません



2. 開催にあたって

開催までのながれ（設営・撤去における対応スタッフ数）

令和 3年 4月21日	展示物搬入
令和 3年 4月21日 ~ 令和 3年 4月23日	設営(3人)
令和 3年 4月24日 ~ 令和 3年 5月31日	開催
令和 3年 6月 1日 ~ 令和 3年 6月 5日	撤去(3人)
令和 3年 6月 5日	展示物搬出

内容および運営上の工夫があればご記入ください

チケット売り場から見える位置に、一枚目の大きなパネルを展示してアイキャッチとした。巡回展パネル展示の内容は、日本全土を対象としている。そこで、徳島の生物多様性について考えてもらうために、鳴門市のコウノトリ保全活動の紹介パネル、吉野川流域にすむ魚類の標本を展示した。そのほか、小さな子供でも楽しみながら、多様性に触れられるきっかけづくりとして、等身大の生きものシルエットと背比べをできるコーナーや、様々な形に並べられた“魅せる昆虫標本”を展示した。コロナウィルス感染症の拡大に伴い、4月29日から5月5日まで休館となった。そこで巡回展の内容を、当館職員が紹介する動画を公開した。これにより、遠方からGWに来館予定だった方に対しても教育普及を図った。

展示物に対する来場者の反応はどうでしたか

徳島県では里山のような環境が身近にあるため、パネル展示でも里山の内容に関心を持たれた方がいらした。来館者の多くは、小さな子供連れであるため、すべてのパネルをじっくりと見る方はいらしなかった。そこで、ツアー形式でパネル解説を行ったところ「とても勉強になりました」との声を聞くことができた。普段、子ども科学館に来ることがない層でも、生物に興味があるため訪れた方もいらした

3. 広報について

広報方法(チラシ等のデータがあれば、別途添付してください)

園内催し案内、SNS(Twitter、Facebook)、園内ポスター、Youtube

- ・協力先である国土交通省徳島河川国道事務局の Twitter にて企画展の情報を拡散
- ・国立科学博物館の Twitter による巡回展紹介動画の情報拡散

*この報告書やチラシ、写真は国立科学博物館の web にて紹介させていただく予定です。

8250

2150

6400

350



350
4530
6170
6170
4530
350

種の多様性ゾーン

形の多様性ゾーン

種の中の多様性ゾーン

大きさの多様性ゾーン

← みんながってみんないい
～徳島の生き物～

→

↑

GOAL

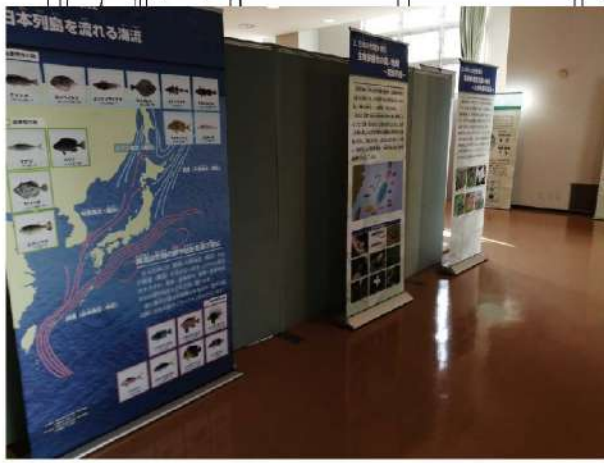
→

↑

←

→

国立科学博物館巡回展
日本の生物多様性とその保全



出入口



受付

フォトスポット
さんねんないきもの企画



特別展示室・多目的ホール